

(シラバスNo.25)

科目名	特別講義 26-1 心理教育的アセスメント基礎実習	科目コード	24P-K8	
		科目群名	関連科目	
	Basic training in psychoeducational assessment	必修/選択	選択	
		教職	—	
担当教員	岩澤 一美	単位数	2	

【授業概要】

心理教育的アセスメントの必要性から開始し、理論と実践方法についての基礎的な知識を学習した後、実際に学校現場でよく使用される WISC-V を体験し、プロフィール分析を行う。第1回～第7回は ZOOM で、第8回以降は横浜キャンパスで実施する。

【授業の到達目標】

WISC-V を実際に実施し、そこから得られたプロフィール分析を通して、児童生徒の特性を把握し、専門職としての判断に基づいて、それぞれに合わせた適切な支援方法を立案することができる。

【授業の形態】

メディア授業の実施（あり）

<授業の特徴>（毎回実施に◎、適宜実施に○を付けてください）

形態	実施	具体的に実施すること
講義	○	・ WISC-V の概要 ・ WISC-V の5つの指標が示す力とプロフィールの分析方法
グループワーク・質疑	○	WISC-V による特性分析から、該当する児童生徒に必要なとされる支援についての議論
演習	○	・ WISC-V の実施 ・ WISC-V による特性分析
プレゼンテーション	○	・ WISC-V のプロフィール分析から判断される必要な支援についての発表
制作		
その他 ()		

【授業計画】

回	内 容
1	イントロダクション
2	心理教育アセスメントとは
3	心理教育アセスメントの方法
4	心理検査について
5	学校や学級のアセスメント
6	WISC-V の概要
7	WISC-V の指標パターンによるプロフィール分析の方法
8	WISC-V による特性分析の実際
9	WISC-V 演習①～積木模様・類似・行列推理～
10	WISC-V 演習②～数唱・符号・単語～
11	WISC-V 演習③～バランス・パズル・絵のспан～
12	WISC-V 演習④～記号探し・語音整列・算数～
13	WISC-V による特性分析と個別指導計画の立案

14	具体的な事例分析と支援方法
15	保護者と教師・学校との関係調整
※この科目を履修することによって、学校心理士等の受験資格を <u>得ることはできません</u> が、資格取得後に役に立つ内容となっています。	
試験	
【履修上にあたっての準備】 WISC-Vの検査項目については事前に学修しておいてください。	
【授業外学修（予習・復習）】 WISC-Vのプロフィール分析を各自で行ってください。	
【評価方法】 授業への貢献（研究発表、レポート）（50%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。	
【教科書】 熊上 崇・星井純子・熊上藤子.(2024)『WISC-V・KABC-II 対応版 子どもの心理検査・知能検査：保護者と先生のための100%活用ブック』 合同出版（ISBN：9784772615679）	
【参考図書】 *David Wechsler.(2022)『日本版 WISC-V 知能検査 理論・解釈マニュアル』 日本文化科学社 *David Wechsler.(2022)『日本版 WISC-V 知能検査 実施・採点マニュアル』 日本文化科学社 阿部利彦・岩澤一美(2019)『これだけは知っておきたい 発達が気になる児童生徒の理解と指導・支援 多様性のある子どもたちのあしたのために』 金子書房（ISBN：9784760832705）	
※*を購入したい方は、岩澤まで申し出てください。	